

＜参考文献：ハズダ・ベキダ＞

Cheng Yan

【単行本・辞書】

- 庵功雄他（2001）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 スリーエーネットワーク
- 蒲谷 宏・川口義一・坂本恵（1998）『敬語表現』 大修館書店
- グループ・ジャマシイ（2001）『日本語文型辞典中国語訳簡体字版』 くろしお出版
- 阪田雪子・倉持保男（1980）『教師用日本語教育ハンドブック④文法Ⅱ助動詞を中心に』（改訂版 1993） 国際交流基金
- 商務印書館・小学館（1992）『中日辞典』 小学館
- 大東文化大学中国語大辞典編纂室編（1994）『中国語大辞典』 角川書店
- 張 麟声（2001）『日本語教育のための誤用分析－中国語母語話者の母語干渉 20 例－』 スリーエーネットワーク
- 寺村秀夫（1984）『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』 くろしお出版
- 日本語記述文法研究会編（2003）『現代日本語文法 4（第 8 部 モダリティ）』 くろしお出版
- 明治書院企画編集部編（1997）『日本語誤用分析』 明治書院
- 森田良行・松木正恵（1989）『日本語表現文型 用例中心・複合辞の意味と用法』 アルク
- 劉月華他（1983）『实用現代漢語語法』 外語教学与研究出版社（相原茂監訳『現代中国語文法総覧（上）』 くろしお出版 1988）
- 吉川武時編（2003）『形式名詞がこれでわかる』 ひつじ書房

【雑誌論文】

- 池尾スミ（1970）「判断辞のように用いられる形式名詞－「はず」とその周辺－」『日本語と日本語教育』 2 慶應義塾大学国際センター
- 太田陽子（2003）「文型指導における『文脈欠如』の問題点－日本語教科書におけるハズダの導入・練習を例に－」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』 17 号 早稲田大学日本語研究教育センター
- （2004）「ハズダの機能と文脈化－運用力につながる表現練習のために－」『2004 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 岡部嘉幸（1998）「ハズダの用法について」『東京大学国語研究室創設百周年記念国語研究論集』 汲古書院
- 奥田靖雄（1993）「説明(その 3)－はずだ－」言語学研究会編『ことばの科学 6』 むぎ書房
- 川口義一（2000）「『ナラ表現』の『文脈化』と『教材化』」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』 13 号 早稲田大学日本語研究教育センター
- 邢 志強（2000）『『～べきだ』『～はずだ』『～わけだ』の意味と中国語への訳し方』『北

見大学論集』44 北海学園北見大学学術研究会

- 郷丸静香 (1995) 「現代日本語の当為表現—『なければならぬ』と『べきだ』—」『三重大学日本語学文学』6 三重大学日本語学文学会
- 篠崎一郎 (1981) 『『ハズ』の意味について』『日本語教育』44 日本語教育学会
- 高橋太郎 (1975) 「ことばの相談室『はずがない』と『はずじゃない』」『言語生活』289 筑摩書房
- 中畠孝幸 (1998) 「当然を表すモダリティ形式について—ハズダとベキダ—」『甲南大学紀要 (文学編)』111 甲南大学
- 丹羽哲也 (1991) 『『べきだ』と『なければならぬ』』『大阪学院大学人文自然論叢 23・24』大阪学院大学人文自然学会
- 野田尚史 (1984) 「～にちがいない/～かもしれない/～はずだ」『日本語学』3-10 明治書院
- 野林靖彦 (1996) 『『ベキダ/ハウガイイ』『ナケレバナラナイ』が表し分ける評価的態度の差異と類似』『文芸研究』141 日本文藝研究會
- 原田登美・小谷博泰 (1995) 「言い訳と失意の表現構造—～つもりだった, ～はずだった, ～べきだったの場合—」『甲南大学紀要 (文学編)』99 甲南大学
- 藤井聖子 (2000) 「認識的モダリティと“その周辺”との関連—文法化・多義性分析の観点から—」『認識のモダリティとその周辺—日本語・英語・中国語の場合—』国立国語研究所
- 益岡隆志 (1987) 「モダリティの構造と意味—価値判断のモダリティをめぐる—」『日本語学』6-7 明治書院
- 益岡隆志 (2002) 「判断のモダリティ—現実と非現実の対立—」『日本語学』21-2 明治書院
- 松木正恵 (1994) 『『～はずだった』と『～はずがない』—過去形・否定形と話者の視点—』『学術研究 (国語・国文学編)』42 早稲田大学教育学部
- (1995) 「時制と視点—「はずだ」を中心に—」『学術研究 (国語・国文学編)』43 早稲田大学教育学部
- 松田礼子 (1994) 『『はずだ』に関する—考察—推理による観念の世界とその外に実在する現実の世界をめぐる—』『武蔵大学人文学会雑誌』26-1 武蔵大学
- 三宅知宏 (1995) 「ニチガイナイとハズダとダロウ」『日本語類義表現の文法 (上)』くろしお出版
- 森山卓郎 (1995) 「ト思ウ、ハズダ、ニチガイナイ、ダロウ、副詞～Φ」『日本語類義表現の文法 (上)』くろしお出版
- 山田 進 (1982) 「チガイナイ・ハズダ」『ことばの意味3』平凡社

【用例出典】

◆小説

川端康成 (1947) 『雪国』新潮社 1987 [雪]

- 叶渭渠訳（1983）《雪国》山东人民出版社《古都・雪国》〔雪①〕／高慧勤訳（1985）《雪国》漓江出版社《雪国・千鶴・古都》〔雪②〕
- 松本清張（1958）『点と線』新潮社 1987〔点〕
- 晏洲訳（1979）《点与线》群众出版社〔点〕
- 宮沢賢治（1924）『銀河鉄道の夜』岩波書店 2000〔銀〕
- 周龙梅訳（2003）《银河铁道之夜》少年儿童出版社〔銀〕
- 宮沢賢治（1926）『猫の事務所』岩波書店『童話集 風の又三郎』1967〔猫〕
- 周龙梅訳（2003）《猫儿事务所》少年儿童出版社《水仙月四日》〔猫〕
- 宮沢賢治（1932）『グスコーブドリの伝記』岩波書店『童話集 風の又三郎』1967〔伝〕
- 周龙梅訳（2003）《古斯柯布多力传记》少年儿童出版社《风又三郎》〔伝〕
- 村上春樹（1985）『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』新潮社 1985〔世〕
- 林少华訳（2002）《世界尽头与冷酷仙境》上海译文出版社〔世〕
- 横光利一（1926）『春は馬車に乗って』新潮社 2003『機械;春は馬車に乗って』〔春〕
- 耿仁秋訳（1988）《马车载来了春天》作家出版社《日本新感觉派作品选》〔春〕
- 横光利一（1930）『機械』新潮社 2003『機械;春は馬車に乗って』〔機〕
- 丁民・丹東訳（1988）《机械》作家出版社《日本新感觉派作品选》〔机〕
- 横光利一（1930）『鳥』講談社 1993『愛の挨拶;馬車;純粹小説論』〔鳥〕
- 山字訳（1988）《飞鸟》作家出版社《日本新感觉派作品选》〔鸟〕
- ◆ドラマ
- 三谷幸喜（1993）『振り返れば奴がいる』フジテレビ〔振〕
- 九洲音像出版社（1996）《回首又见他》〔回〕
- 伴一彦（2002）『サイコドクター』日本テレビ〔サ〕
- 珠海特区音像出版社（2003）《心理医生》〔心〕

【教科書・教材】

- スリーエーネットワーク（1998）『みんなの日本語初級Ⅱ本冊』『みんなの日本語初級Ⅱ翻訳・文法解説中国語版』スリーエーネットワーク
- 坂野永理他（1999）『初級日本語げんきⅡ』The Japan Times
- 文化外国語専門学校（2000）『新文化初級日本語Ⅱ』『新文化初級日本語Ⅱ練習問題集』凡人社
- 文化外国語専門学校（1994）『文化中級日本語Ⅰ』『文化中級日本語Ⅰ練習問題集』凡人社
- 文化外国語専門学校（1997）『文化中級日本語Ⅱ』『文化中級日本語Ⅱ練習問題集』凡人社
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（1994）『初級日本語』『初級日本語かいわ』『初級日本語文法練習帳』『初級日本語れんしゅう』凡人社
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター（1994）『中級日本語』『中級日本語語彙・文型例文集』『中級日本語文法練習帳』凡人社

- 国際交流基金日本語国際センター（1991）『日本語初歩』 凡人社
国際交流基金日本語国際センター（1996）『日本語中級Ⅱ』 凡人社
荒井礼子他（1991）『テーマ別中級から学ぶ日本語』 研究社出版
周平・陳曉芬（1994）『新編日語 2・3』 上海外語教育出版社
北京外国語大学日語系（2000）『基礎日語課程 3』 外語教学与研究出版社
北京第二外国語学院日語系（1998）（2001）『基礎日語課程 2・3』 旅游教育出版社
人民教育出版社・光村図書出版株式会社（1988）『中日交流標準日本語初級・中級』 人民教育出版社
谷学謙・李永夏翻訳（1992）（2000）『新編初級日語』『新編中級日語』 吉林教育出版社
坂野永理他著・肖婷婷訳（2003）『新日本語基礎教程（下）』 大連理工大学出版社
佐々木瑞枝監修・執筆（2001）『アカデミック・ジャパニーズ日本語表現ハンドブックシリーズ⑥会話で覚える形式名詞』 アルク
—————（2002a）『アカデミック・ジャパニーズ日本語表現ハンドブックシリーズ⑨例文で学ぶ助動詞』 アルク
—————（2002b）『アカデミック・ジャパニーズ日本語表現ハンドブックシリーズ⑩自然に使える文末表現』 アルク
友松悦子他（2000）『どんなときどう使う日本語表現文型 200』 アルク
三吉礼子他（2001）『すぐに使える実践日本語シリーズ 15 助動詞（上級）』 専門教育出版